

(産業分類：建設業)

(R 7 年 5 月時点)

茨城県

株式会社要建設 農業参入をきっかけにメディアが注目

● 参入のきっかけ・目的

- ・ 経営の多角化を進める中で、地元の耕作放棄地の解消に寄与したいという思いから参入しました。

● 参入地域（土地）を選んだ理由

- ・ 茨城県農業参入支援センターから、常陸大宮市内に約13haのまとまった農地を紹介されたことがきっかけで、現在は約25haまで拡大しています。

● 主な販路

- ・ 自社で経営する県内のレストラン、蕎麦屋等に直接販売しています。

● 本業との相乗効果

- ・ 本業の土木技術を活かして暗渠管を敷設することで、水はけを良くし、水路を通してしています。

蕎麦の花畑



出来たて蕎麦



● 自治体等からの支援

- ・ 茨城県常陸大宮地域農業改良普及センターに、土壌診断を毎年お願いしています。

● 参入して苦勞したこと

- ・ 労働時間は本業の勤務時間に合わせていますが、想像していた以上に肉体的に大変な作業でした。

● 参入した成果

- ・ 「異業種からの農業参入」、「耕作放棄地の解消」
として要建設がテレビやラジオに取り上げられるなど、
宣伝効果が高まりました。
- ・ 茨城県農業参入等支援センター等との関係性が深まりました。

● 今後の展望

- ・ 将来は、本業から独立して法人化することを検討しています。

● 詳しい情報はこちら（会社HP）

[株式会社 要建設「お客様に尽くし、まちづくりに貢献する総合建設会社」](#)

土壌診断



耕作放棄地の解消



★ 概要 ★

法人設立：1972年

栽培作物：常陸秋そば、有機野菜、養蜂

経営面積：約25ha

職 員（農業）：7名（うちアルバイト5名）